

# 墨田区基本計画の改定にあたって

本区では、平成17年11月に新基本構想を制定し、その翌年の12月にこの基本構想を実現するため10年間を計画期間とする「墨田区基本計画」を策定するとともに、平成19年3月には基本計画新タワー事業編を定め、具体的な施策の展開を図ってきました。

このたび、基本計画の中間年を迎え、前期5年間の施策の達成状況を検証し、また、昨年7月に目標人口25万人を達成したとことや本年3月に発生した東日本大震災の教訓等も踏まえ、さらに今後の社会潮流を予測したうえで、基本計画を改定しました。

改定基本計画では、区政の当面の課題を解決するためのリーディングプロジェクトとして「東日本大震災を教訓に、安全で安心して暮らせるまちをめざします」「東京スカイツリーを中心に、多数の人々でにぎわう、「国際観光都市すみだ」をめざします」「子育て環境が整備され、高齢者を地域で見守るまちをめざします」の3つを掲げ、その実現に向け行政資源を集中し積極的に取り組むこととしています。そのほか、まちづくりなどの主要な公共施設整備事業についても計画的に推進していきます。

一方、それらを裏打ちする財源については、震災や引き続く景気の低迷、円高の影響等により極めて厳しい環境にあります。そこで、後年度負担に配慮して起債・積立基金の活用を図るほか、これまで以上に行財政改革を進めることにより財源を生み出すことで対応していきます。

いよいよ来年5月には、本区にとって区内全体を活性化することが期待される東京スカイツリーが開業します。区では、この千載一遇のチャンスをとらえ、観光・産業・まちづくり等、さまざまな施策を重層的に展開し、区内への経済波及効果を高めていきます。そして、この基本計画を指針としながら、本区のまちづくりの基本理念である「～水と歴史のハーモニー～ 人が輝くいきいき すみだ」の実現に向けて、区民、事業者、区との協働による協治（ガバナンス）の取り組みにより、活力ある明日のすみだを築いてまいります。

区民の皆さんをはじめ関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。



平成23年12月

墨田区長 山崎昇